



国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

- 創 立■ 1964年3月2日 ■例会日■ 毎・金曜日12時30分 ■例会場■ オークラ千葉ホテル
- 会 長■ 大塚 裕正 ■幹 事■ 岡田 敦志 ■会報委員長■ 小林 透
- 事務局■ 〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 (☎043-245-3204)

2021-22年度

第2766回

点鐘に先立ち、東仁川 RC との親交クラブ締結にご尽力いただいた李東秀さんがご逝去されたこと、また、東日本大震災(3.11)の11年目にあたることにより、全員で1分間の黙祷を捧げました。



2022年3月11日(金)点鐘12時30分(晴れ)

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆四つのテスト ~言行はこれに照らしてから~
 1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるか どうか

◆お客様紹介

- 本日のゲストスピーカー
千の葉社労士合同事務所
社会保険労務士 市川 直人様
- 都川的环境を考える会 会長 荒田 一騎様
副理事長 加藤 和男様

◆会長挨拶及び報告 大塚 裕正会長



11年前の今日、地震後にあらゆる物資がなくなり、大変苦労したことを思い出します。このようなことが二度と起きないことを望んでおりますが、ロシア情勢など、不安なことも多く、天災だけでなく物資が足りなくなることも考えられます。あらゆるものを大事にしていきたいと思っております。また、コロナも続いておりますので引き続き注意していきたいと思っております。

当クラブのホームページを一部変更する予定です。画面を少し写しておきますのでご覧ください。

当クラブのホームページを一部変更する予定です。画面を少し写しておきますのでご覧ください。

◆ご挨拶

《都川的环境を考える会 会長 荒田 一騎様》

前理事がなくなってから理事長を引継いでから3年となります。活動としては、川の清掃、草むしりなどになります。去年は千葉南RCと一緒に桜の整理を一緒に行わせていただきました。これからも一緒に活動できればと思います。今後ともよろしくお願ひします。



竹尾会員 荒田様 加藤様 大塚会長

◆委員会報告

《親睦活動委員会》 杉本峰康委員長

当初予定しておりました、4月8日(金)の花見移動例会を桜の開花状況により、4月1日(金)に変更いたします。バスで公園等の桜を見学し、そのあとに大塚会長の別宅でバーベキューを行います。

詳細は、後日連絡いたします。

◆幹事報告 岡田 敦志幹事

- ・ウクライナ人道支援について報告
- ・4/1(金)に花見移動例会を行います
- ・4/1の理事会予定を4/8(金)に変更します。

◆出席報告 (会員数43名)

| | | | |
|-----------|-------------|------------|-----------------------|
| 出席者数 名 | 欠席者数 26名 | ビジター 3名 | 2/25 修正出席率 休会のため次回 |
|-----------|-------------|------------|-----------------------|

| | | | |
|--------|---|------|----------------|
| 千葉RC | 月 | 3/28 | 三井ガーデンホテル千葉 |
| 千葉西RC | 火 | | センシティタワー「東天紅」 |
| 千葉幕張RC | 火 | 3/29 | アパホテル&リゾート東京ベイ |
| 新千葉RC | 水 | 3/30 | 京成ホテルミラマーレ |
| 千葉北RC | 水 | 3/30 | オークラ千葉ホテル |
| 千葉中央RC | 木 | | 三井ガーデンホテル千葉 |
| 千葉港RC | 木 | 3/24 | 京成ホテルミラマーレ |

◆ニコニコボックス報告

●大塚 裕正会長、岡田 敦志幹事

3月になり、暖かい日が増えてきました。ウクライナ問題オミクロンと暗いニュースも少なくありませんが、咲き始めた花を見ていると少し明るい気持ちになります。4月にはお花見も企画しています。皆さんとワイワイできる日を楽しみにしています

●竹尾 白会員

都川の会長、副理事長のお二人、ご苦勞様です。よろしくお祈りいたします。

| | | | |
|-------------|---------|----|-----------|
| 本日のニコニコボックス | 3,000 円 | 累計 | 308,800 円 |
| 金の箱 | 1,130 円 | 累計 | 9,610 円 |

本日の卓話

千の葉社労士合同事務所
社会保険労務士 市川 直人様



初めまして、市川直人と申します。

昭和 55 年 2 月生まれの 42 歳で、社会保険労務士をしています。

今回、私が所属している習志野商工会議所青年部で懇意にいただいている戸井

田さんから、お誘いをいただき、参加させていただきました。

そこで、自己紹介を 20 分ほどするように仰せつかったのですが、正直 20 分も話せるだけのネタを持ち合わせておりませんし、どこから話したものかと悩みまして、とりあえず、私の拙い略歴をざっくりと振り返ってみました。

そもそも、私がなぜ社会保険労務士になろうと思ったのかと申しますと、就職についての考え方が普通の人と大きく異なっていたからだと思います。

現在の日本では、一つの会社を勤め上げるということはなかなか難しくなりつつありますが、私が学生当時は、学校を卒業後、一つの企業に就職し、正社員としてその企業で定年までずっと働くことが普通だったと思います。

ところが、私は、当時から就職したとしても、同じ企業の中ではずっと働き続けられないのだろうと考えておきて、大学卒業後、しばらくの間、何を将来の仕事にしようかと悩み、一応、フリーターをして働いてはおりましたが、定職には就かずプンプン過ごしておりました。

そんな中、何か手に職を付ければ方向性が定まるのではないかと思い、勉強を始めたのが社会保険労務士資格でした。

法律初学者でしたので、独特の法律用語を理解することが非常に難しかったのですが、勉強を進めていくと思いのほか面白く、1回目は残念ながら落ちてしまったのですが、あきらめず2回目の試験で何とか合格することができました。

資格試験に受かったことが影響したのかどうかはわかりませんが、運よく某大手小売業に就職することができて、それから約、8年間ほど、正社員として勤務致しました。

最初の担当職務は、人事・総務担当でしたが、どちらかといいますと、人事よりも店舗の運営管理に関する総務の仕事が多かったと思います。新店舗の開設メンバーとして任地に赴任した際には、2,000 人規模の採用も担当致しまして、採用試験の実施、面接や採用後の従業員の教育等にも携わってきました。

最後に赴任した店舗は、1か月 1 万枚の処方箋を処方する日本一の薬局に、調剤事務として勤務し、毎日 300 から 500 人ほどの患者様を捌きつつ、総勢 20 名の従業員のマネジメントを行ってきました。

ところが、疲れのせいか、これまで薬で抑えていた持病の発作が頻発するようになってしまい、仕事もままならなくなってしまったため、入院手術を経て、平成 28 年の 9 月に退職、翌年の平成 29 年 3 月に開業社会保険労務士として独立致しました。

事務所は、千の葉社労士合同事務所という名称で、船橋市宮本にある船橋大神宮の鳥居のすぐ横にございます。

事務所には、私を含めて 4 名の社会保険労務士が在籍しており、人数が多いところなどは複数人で受けている顧問先もあるのですが、原則として、皆、個人事業主として個々に顧問先と契約を結んで仕事を受けております。

私の顧問先、関与先としましては、障害児施設、保育所を複数持つ社会福祉法人、介護事業所、ゲーム開発、設備工事、内装工事、ビルメンテナンス、土木設計、測量、印刷、金属製造加工、歯科医院、薬局、労働者派遣、職業紹介と様々な業種を手がけておりまして、合計 27 事業所、従業員数合計 1,200 名ほどを担当しております。

中核となる業務は、他の社会保険労務士事務所と同じように、労働保険・社会保険の手続き、給与計算等を中心に月額で顧問という形で行っております。

また、年1回または2回程度の個別案件の仕事としましては、就業規則の作成、建設業事業主・建設一人親方の労働保険特別加入手続き、介護事業所指定申請、介護職員処遇改善加算申請、労働者派遣事業許可申請、職業紹介事業許可申請、助成金申請等を行っております。

特に、私の場合は、請け負っている人数規模が大きいため、労働者全員分の賃金集計を行わなければならない労働保険の年度更新手続きが毎年大変でして、5月～7月にかけては、それ以外の業務は何もできない状態です。

他の時期はといいますと、1月2月は新規の依頼や介護関係の依頼が来ることが多く、その対応に追われ、3月4月は事業変更や大量の入退社手続きがありますので、年初から7月半ばくらいまでは、ほぼノンストップで動いている感じになります。8月～10月は比較的ゆっくり過ごせるのですが、11月12月は年末調整がありバタバタのうちに1年を終えます。

このように忙しいことは、今にして思えば嬉しい悲鳴ではあるのですが、実は開業した当初は、土業アルアルで、仕事もほとんどなく、全くといって食べていけませんでした。ですので、会社を退職した当時、36歳にして実家にお世話になることとなり、親のすねをかじりながら、事務所として受けていた仕事や行政協力をこなしつつ、事務所ホームページを作ったり、異業種交流会、BNIや研修会などへの参加をして、人脈を広げていったのですが、なかなか安定した仕事にはつながりませんでした。

しかし、3年目くらいから、ホームページや知人の紹介等で少しずつお客様が増えていき、4年目になる頃にはようやく独り立ちできるほどの収入になってきました。

ただ、丁度その頃は新型コロナが流行り出した時期で、お客様が増えると必然的に外部との接触機会が増えますので、私が感染してしまうと家族に感染させてしまうリスクが高くなるため、実家から引っ越すことを決意し、仕事が落ち着いた令和2年8月半ばくらいに事務所近くの鎌ヶ谷市に引っ越しし、現在に至っております。

今年は、開業から6年目を迎えます。お客様も順調に増えてきて、人を雇うかどうかを考える年になりそうです。

また、私は残念ながらまだ独り身でございまして、今すぐマイホームを買うつもりはなかったのですが、昔住んでいた空き家をどうするか父親に相談されていたこともあり、ウッドショックなど今後の物価や金利の上昇などを考えた結果、空き家を父親から買い取って取り壊し、建て替えることに致しました。

コロナの影響で工事が遅れており、今年5月下旬から7月頃に完成見込みで、完成次第、千葉市緑区にある新居へ引っ越し予定です。

ただ、家だけあってもパートナーがいないというのでもうなのかという、世間体の問題はありまして、両親も早く結婚しろとせつついている状況です。ですので、今年は、益々仕事にまい進して行かなければならないことはもちろんですが、同時に、パートナーも見つけていかなければならないのだと考えております。

これまで、忙しさにかまけて棚上げにしてきた問題をやらなければならないのは、非常に憂鬱ではございますが、体調には気を付けて、無理なく頑張っていきたいと思います。

以上で、私の自己紹介を終わりにしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



《会員増強特別委員会》 からのお願いです！

会員の皆様 会員増強にご協力いただき大変ありがとうございます。

さて、今回の卓話者である市川様においては、例会終了後に「入会届」を提出いただいております。増強にはいろいろなスタイルがありますが、「卓話者」として例会に参加していただくことをきっかけに、千葉南ロータリークラブを少しでも知っていただき、直接会員の皆さんと接することで入会候補者へとつなげていくことも一つの方法ではないでしょうか？ ぜひ仲間になりたいと思う方がいらっしゃいましたら、例会見学、卓話者、ゴルフなど、様々な入口を活用していただき、多くの方に私たちのクラブを知っていただきたいと思っております。

引き続き全員参加の「会員増強活動」にご協力いただき、大塚会長を盛り上げてまいりましょう！



台風で倒れてしまった桜の樹勢回復作業を昨年10月に行いましたが、数本がまた倒れてしまいました。

倒れたままでも立派な花を咲かせてくれました。

今年も可憐な花を見せてくれるでしょうか…。



第2767回例会

日時⇒ 2022年3月18日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『家族信託でできること

～親なき後問題解決のために～』

ときた行政書士事務所 代表 時田 美奈様

《担当：小林 透》